

私たちの願い実現 山口正子さんに期待します

いのちを守り

暮らしを守る

市民の皆さんと国道6号の信号機設置、学校のエアコン設置や市内初のコミュニティバス実現に取り組んできました。命の危険に結びつく医療・介護・年金・障害者支援などの福祉の削減や、生活を苦しめる消費税引き上げを中止させるため、3期目をめざして全力でがんばります。

日本共産党

松戸市議会議員

まさこ

山口正子

看護師38年間、うち助産師28年間で取り上げた赤ちゃん960人、高齢者の看護3年間、学童父母会長や労働組合婦人部長を経験。鹿児島県出身。現在、市議2期、健康福祉常任委員、北松戸在住。趣味／映画鑑賞・ハイキング

働く女性と子どもの味方



保育士
茂呂君代

議会でも地域でも女性の視点をいかし、保育環境改善に取り組む山口さんは、働く女性と子どもの味方です。保育所（園）は命を育て、命を守り、人間を育てる尊い使命があります。いのちの大切さを知っている山口さんに子どもたちの未来を託し、応援します。

命の重さ・大切さを知る人



新松戸診療所
所長代理
三浦聡雄

山口さんは、東葛病院などで38年間、看護師・助産師として働き、誰よりも命の重さ、大切さを知っている人です。学童クラブの父母会長なども歴任。松戸市議、健康福祉常任委員として地域の患者さん、住民のために活躍する山口さんを推薦します。

ひたむきに誠実に粘り強く



千葉県議会議員
みわ由美

住民に寄り添いトコトンがんばる、これが山口さんの魅力です。エレベーター設置、信号機設置、コミュニティバス運行など次々実現する「住民ファースト」の姿勢は見事です。心から信頼できる山口正子さんを3期目も議会に送ってください。

安心して住み続けられる松戸に



年金者組合松戸支部
副支部長
安部眞公

年金・医療・介護・コミュニティバス運行の問題など、福祉の充実のため頑張る山口さん。多忙な中、私たち年金者組合の諸取り組みにも参加して、激励してくれています。子ども・高齢者が安心して暮らせる街、松戸市の実現を願って山口さんに期待します。

市民の願いに応える市政実現へ

くらしを応援

- ▼国保料の一世帯1万円引き下げを
- ▼介護保険料と利用料金の減免周知を
- ▼住宅手当など介護従事者の処遇改善

身近な公共事業へ

- ▼公営住宅の増設と高齢者の入居保障
- ▼学校や保育所の老朽化対策を急ぐ
- ▼校舎・体育館のトイレの洋式化を急ぐ

元気な松戸に

- ▼住宅リフォーム助成制度を
- ▼コミュニティバスを市内各地に
- ▼旧市立病院跡地に市民が集う施設を

子育て応援

- ▼0～5才の保育所増設で待機児ゼロに
- ▼医療費無料化は高校生まで
- ▼児童館増設で子どもの居場所を



いま取り組んでいる市民の願い

- ★千駄堀口交差点へ信号機設置を（写真下）
- ★新松戸二丁目ゆりのき通り交差点の歩行者信号の時間延長
- ★学童保育の多人数解消と施設の確保、委託後も営利の対象にさせない
- ★妊婦健診および産後2週間と1か月後の健診費用補助
- ★馬橋駅東口からの県道の拡幅
- ★コミュニティバスの利便性向上
- ★市立総合医療センターへの国・県からの補助金増額
- ★市立東松戸病院の拡充・存続



バスから降りて横断する人と行き交う車

市民と野党
の共闘で

平和を守り、安心して住み続けられる松戸へ

ウソとゴマカシの安倍政権は退陣を！
アベ9条改憲NO！
消費税増税は中止を！
原発再稼働はさせない！
核兵器禁止条約の批准を！
若者も高齢者も住みやすい松戸に！
くらしに憲法を！



市内初のコミュニティバス運行を実現！

住民の皆さんと一緒に「コミバスを走らせる会」を立ち上げ、市長への署名提出や市議会への請願を行う中で、「必要ない」という市の態度が2014年には「高齢化が進み、市民からの要望もありニーズ調査を行う」と変化し、2017年12月に松戸市初の実証運行が実現しました。

さらに便利に、市内各地に走らせましょう！

私は市議会で質問や要望を行い、運行実現の後にも利便性向上のために「(終点で降りる必要のない)循環にせよ」「市内70歳以上全員を割引運賃対象にせよ」と要望しています。

さらに八ヶ崎をはじめ、市内の交通不便地域へコミュニティバス運行実現に引き続き取り組みます。



朝夕の北松戸駅前には長い利用者の行列

母と子と家族の幸せ実現へ、 産後ケアの取り組み

産後の手伝いを家族に頼れないケースが増える中で、専門職が24時間近くにおいてアドバイスができる宿泊型の産後ケア施設は、授乳やお風呂入れなど育児不安や、産後うつへの解消とともに、乳幼児虐待を防ぎます。私は病院で助産師の仕事していた時の経験から、松戸市でも宿泊型の産後ケア施設が必要と求めてきました。



助産師28年で取り上げた
赤ちゃん960人

松戸市は2016年から市内の病院に依頼して宿泊型の産後ケアと、助産師が自宅へ訪問する訪問型ケアを安い料金で開始し、利用者が増えています。

さらに国がすすめている産後2週間目と1ヵ月後の健診費用補助を松戸市も行うよう取り組んでまいります。

小中学校の エアコン設置に奮闘

請願・陳情採択へ全力

松戸市教職員組合から毎年、市議会に提出された請願を他党派がこぼむなか、日本共産党は唯一紹介議員となり、市民からの陳情に対しても、猛暑から子どもたちの健康を守り快適な学習環境にするために実現へと後押しを行って来ました。

願えない、 今年の猛暑から子どもたちを守る

その後、学校で子どもたちが熱中症で救急搬送されることが相次ぐようになり、日本共産党は一刻も早くエアコン設置を市議会でも奮闘し、2014年の市議選の一大公約に掲げ、ついに2016年の夏休みに市内全部の小中学校にエアコンが設置されました。

「子どもたちも教師も助かっています」と、校長先生から聞き、今年の猛暑から子どもたちを守れたとホッとしました。



後援会の行事でごあいさつ